烏来トロッコ列車
Wulai Log Cart

WULAI LOG CART

トロッコ列車の故郷、烏来

烏来トロッコ列車は日本統治時代の1928年、三井合名株式会社によって敷設されて、木材の運搬を主としていました。戦後の1963年、路線バスが運行開始されると、多くの観光客が訪れ、手押しトロッコが観光の目玉になりました。1974年に観光客の増加に合わせて機械動力のトロッコ列車が導入されて、1987年に運行効率を向上させるためにブルホイールの代わりになるトンネルが開通しました。現在、烏来老街と烏来滝の商店街を結ぶ、線路全長およそ1.5キロのトロッコ列車は林業歴史の象徴と歴史的な観光スポットとなりました。

G 烏来老街

烏来トロッコ列車に乗るには必ず烏來老街を通ります。温泉旅館、先住民の郷土料理レストランや工芸品の売店が軒を連ね、家族で楽しめる散策スポットです。

H 烏来発電所

日本統治時代から戦後まで重要な電力インフラの一つです。敷地は海に浮かぶ軍艦の形をしています。2011年、新北市の「歴史建築」として登録されました。

I タイヤル族博物館

タイヤル族の歴史、文化、生活道具など、多様に展示しています。烏来ならではの自然生態系、文化資源、集落を活かして、先住民の文化観光を発展させます。

A 烏来滝

台湾北部で落差が最も大きい滝であり、雲から流れ落ちるような壮観さで「雲来の滝」として名声を博しました。

B 烏来ロープウェイ

空中から烏来を俯瞰でき、烏来滝の全貌が一目瞭然です。ロープウェイで遊園地である雲仙楽園に行って、カエル・ホタルの夜間観察や手漕ぎボートで湖の美しい景色が堪能できます。

C トロッコ滝駅

烏来駅から南勢渓を遡ってトロッコ滝駅へ。烏来滝の景色を楽しみたい人には駅近くの展望台がおすすめです。

D 烏来林業生活館

トロッコ滝駅の待ち合わせ室を改修して、2010年開館しました。昔の手押しトロッコや映像を展示して、烏来地区のトロッコ文化を保全するとともに地元の林業史を発信します。

住所：新北市烏来区瀑布路1-2号
営業時間：09:00~17:00（休館日：火曜日）
電話番号：02-26616780【入館無料】

E 南勢橋遺跡

日本統治時代、南勢渓を跨いでいた南勢橋は木材を孝義からトロッコ烏来駅経由で新店の亀山まで運搬するための重要経路でした。トロッコの軌道近くに佇んでいる現存する橋脚の遺跡は歴史を見つめてきました。

F トロッコ烏来駅

トロッコ列車に乗って、沿線の景色を眺めながら、過去の伐採や人力で木材を運搬する情景を想像するのか、恋人散歩道を歩きながら、動物や植物を観察できます。

トロッコ烏来駅 ⇌ トロッコ滝駅	
トロッコ列車で	8分
恋人散歩道を徒歩	30分
標高	140~160メートル

地図記号

- 駅
- 周辺スポット
- AED
- 展望台
- 軌道
- 駐車場
- お手洗い
- バリアフリー設備
- 観光案内所
- 散歩道/道路

チケット料金　アクセス　YouTube動画のQRコード

農業部
林業及び自然保護署

【インフォメーション】

1.営業時間：09:00～17:00
　夏休み期間：09:00～18:00（7~8月）
2.トロッコ運休日：旧暦の大晦日、
　毎月の第一火曜日（点検日）
3.乗車中、車両から頭や手足を出さないでください。
4.交通信号に従って速やかにお渡りください。
5.ゴミのポイ捨てはしないでください。

【緊急時の救助について】

トロッコ烏来駅には救急セット及びAEDを用意しており、お怪我をされるお客様は駅員にご連絡ください。

【関係機関の連絡先一覧】

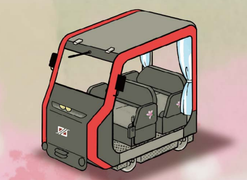
トロッコ烏来駅	02-26617826
林業及び自然保護署新竹分署烏来事務所	02-26617712
新北市政府消防局第四大隊烏来分隊	02-26616187
新北市烏来区衛生所	02-26617200
台北慈済病院	02-66289779
新店耕莘病院	02-22193391

林業及び自然保護署
新竹分署
〒300191新竹市中山路２号
電話番号：+886（３）5224163#236

烏来トロッコ列車
〒233001新北市烏来区温泉街86巷2号
電話番号：+886（２）26617712

烏来トロッコ列車の歴史

100年近く烏來老街と滝の間に往来する烏来トロッコ列車の役割は木材の運搬から観光スポットへと転換して、台湾北部の林業開発史の縮図であり、烏来地区発展の象徴でもあります。



2022

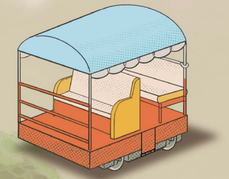
新しいトロッコ列車が登場。シンプルでレトロな車両に地元のタイヤル族の文化や烏来らしい自然環境の特徴の生かしたデザインを施し、これからもトロッコ列車の歴史が紡がれていきます。

2014

イノシシ、アオガエルや先住民のことばなどの地元の特徴を取り入れるデザインとさわやかな色使いで元気さいっぱい！

1987

唐栄会社が先頭車両と車体を製造しました。34年間にわたり、最適に整備され続けてきて、今も線路を走っています。

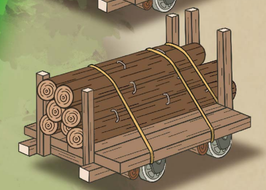


1974

機械動力が導入されました。トロッコ列車に雨除けをつけて、より快適になりました。

1964

塵取りのような車体で「塵取り列車」とも呼ばれていました。



1928

木材を運搬する以外には交通手段としても使われました。最初は道具入りの木箱や腰掛けを座席として使っていましたが、籐製イスに変化しました。

トロッコ列車のAR動画